

# 2025年度 第3四半期 決算説明資料

2026年2月12日

リンナイ株式会社

**Rinnai**

# 免責事項

本資料に含まれる見通し、予想、戦略その他将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまなリスクおよび不確定な要素により当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としていません。

# 浴室暖房乾燥機のリコール対応進捗

## ■ リコール対応は概ね順調に進捗、社員による点検対応は収束局面に入る

### ■ 浴室暖房乾燥機 リコール概要 2025年4月15日公表

- ・対象製品：浴室暖房乾燥機
- ・対象台数：37万2,398台 ※市場残存数は不明  
(2003年8月～2020年8月製造)
- ・点検内容：発火防止の制御基板の取り付け
- ・作業時間：約1時間
- ・実施時期：2025年5月より

※製品保証引当金：25.4億円を25年3月期に計上済み

### ■ 今後のリコール対応について

サービスショップ点検員およびリンナイ社員数十名の体制とし、未受付分を含めた市場対応については引き続き継続

### ■ 進捗状況 2025年12月末時点

- ・受付件数：20万7,105件
- ・完了件数：20万1,079件  
(完了率:97.1%)
- ・人員体制：サービスショップ点検員  
リンナイ社員:約350名  
→数十名の体制へ  
(2026年1月～)



### ■ 業績への影響

25年3月期に計上した製品保証引当金は全額充当済みであり、当下半期において一部費用増は見込まれるものの、業績への影響は軽微にとどまる見込み

2025年度 第3四半期 実績(累計)

# 2025年度 第3四半期 連結決算要点

■ 世界経済において不安定な状況が続くなか、各国事業が着実に貢献し増収増益

**売上高** : **3,393.9億円** (前期比: +2.1%)

主要国の経済環境が総じて調整局面に入るなか、増収着地

過去最高

**営業利益** : **371.3億円** (前期比: +5.9% 利益率: 10.9%)

各種費用負担の増加が続くなか、増収効果、原価低減活動により増益

過去最高

**経常利益** : **418.1億円** (前期比: +7.6% 利益率: 12.3%)

営業増益に加え、為替差益が寄与し増益

過去最高

親会社株主に帰属する

**四半期純利益** : **275.3億円** (前期比: +20.4% 利益率: 8.1%)

子会社であるリンナイブラジルヒーティングテクノロジー(有)の現地当局との和解成立による、「独禁法関連引当金戻入」として特別利益799百万円を計上

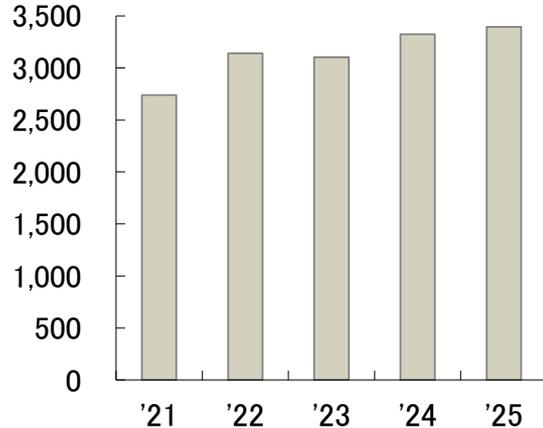
過去最高

# 連結業績推移(第3四半期)

- 市況が不透明ななか、省エネ性や機能性を重視した高付加価値商品の販売が伸長し、2期連続増収
- 連結業績の利益率は段階的に改善の動きがみられる一方で、引き続き市況やコスト動向を注視

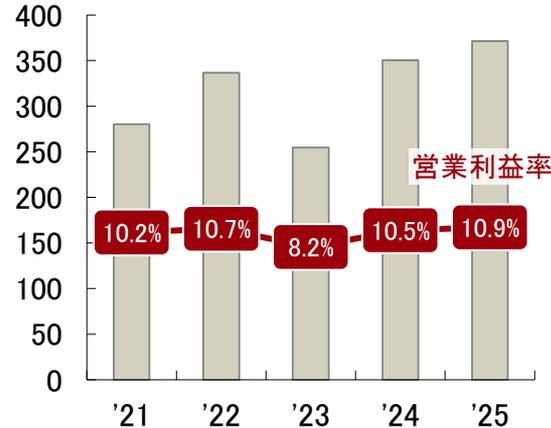
## 売上高

(単位:億円)



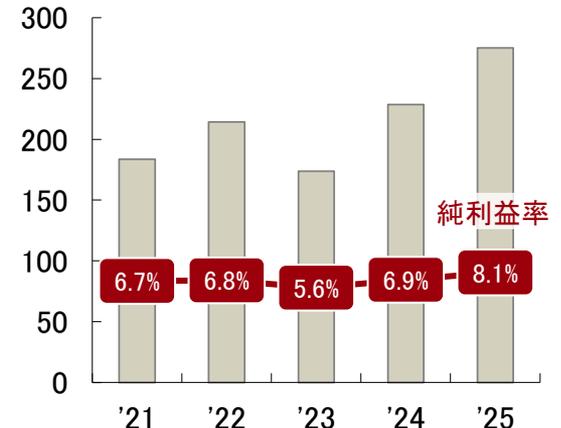
## 営業利益

(単位:億円)



## 親会社株主に帰属する 四半期純利益

(単位:億円)



# 2025年度 第3四半期 機器別売上高の内訳

[単位:億円]

機器別	2024年度		2025年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
給湯	1,965.0	59.1%	1,988.1	58.6%	+23.0	+1.2%
厨房	728.3	21.9%	704.2	20.7%	△24.1	△3.3%
空調	165.8	5.0%	180.2	5.3%	+14.4	+8.7%
業用	86.3	2.6%	86.9	2.6%	+0.6	+0.8%
その他	377.6	11.4%	434.3	12.8%	+56.6	+15.0%
合計	3,323.1	100.0%	3,393.9	100.0%	+70.7	+2.1%

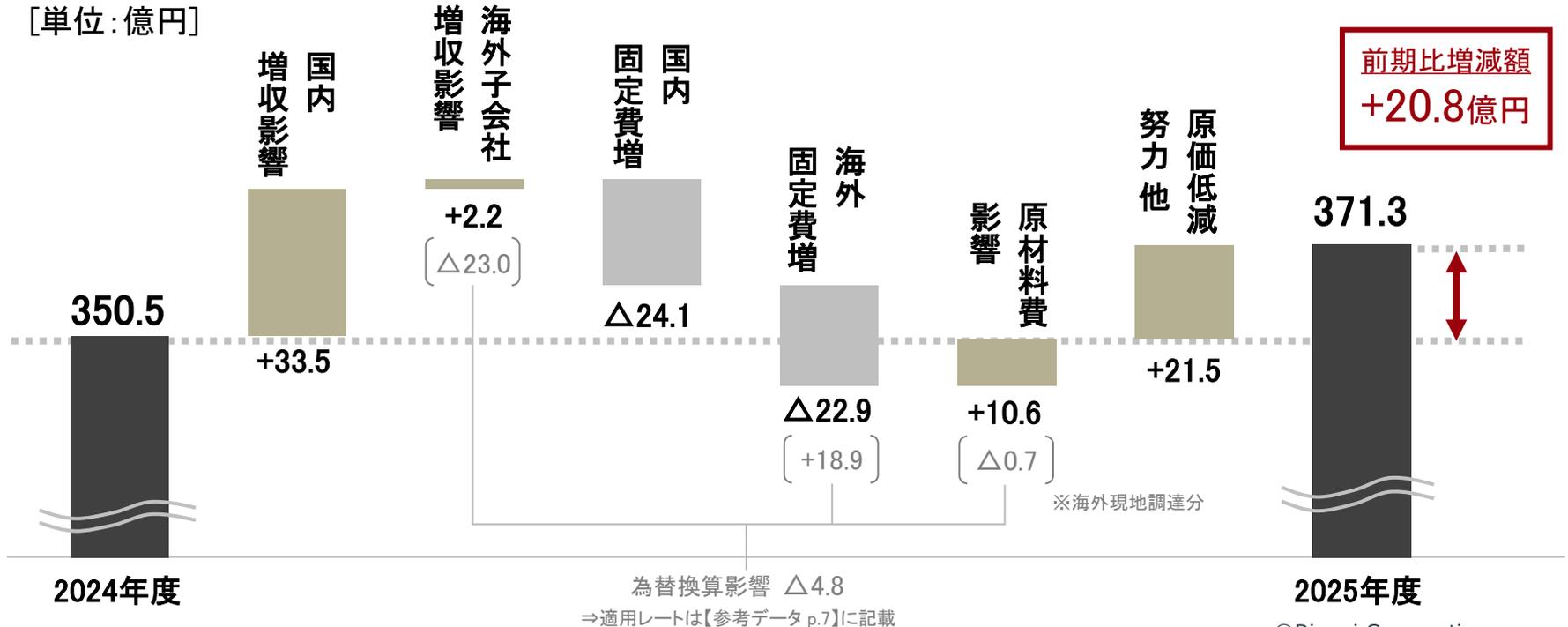
# 2025年度 第3四半期 連結セグメント別 損益実績内訳

[単位:億円]	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	3,393.9	+2.1%	371.3	+5.9%	10.9%	+0.4pt
	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
日本	1,546.2	+2.3%	210.6	+11.6%	13.6%	+1.1pt
アメリカ	517.9	+8.5%	11.6	+12.3%	2.3%	+0.1pt
オーストラリア	324.0	+24.0%	18.4	+77.5%	5.7%	+1.7pt
中国	371.7	△17.1%	57.3	△6.7%	15.4%	+1.7pt
韓国	245.0	△1.0%	9.1	+50.0%	3.8%	+1.3pt
インドネシア	135.5	+4.0%	29.3	△1.2%	21.7%	△1.1pt
その他	253.1	+2.9%	38.0	△1.1%	15.0%	△0.6pt
調整額	-	-	△3.4	-	-	-

# 2025年度 第3四半期 連結営業利益分析

■ 国内外の固定費増を増収影響と原価低減効果により吸収し、増益

[単位: 億円]

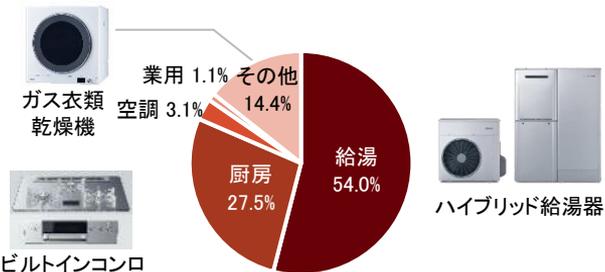


# 日本 セグメント 2025年度 第3四半期 実績

## ■ 対象会社

リンナイ単体、国内連結子会社（製造・販売）

## ■ 商品別売上構成比（2025年度 3Q実績）



## ■ セグメント実績

(単位: 億円)

	2024年度	2025年度	増減率
売上高	1,512.2	1,546.2	+2.3%
営業利益	188.7	210.6	+11.6%
営業利益率	12.5%	13.6%	+1.1pt

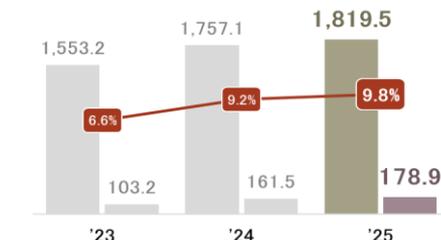
## ■ 主要会社 個別業績

### リンナイ単体

- 新築住宅市場が軟調に推移するなか、リフォーム需要が市場を下支え
- 最需要期の第3四半期は、重点商品の販売好調を背景に堅調に推移
- 継続的な原価低減活動により、収益性は改善基調を維持

### 【リンナイ単体 第3四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 ●: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)

	2024年度	2025年度	増減率
売上高	1,757.1	1,819.5	+3.6%
営業利益	161.5	178.9	+10.8%
営業利益率	9.2%	9.8%	+0.6pt

(販売台数: 国内)

	前期比増減率
給湯暖房機	+6.4%
ハイブリッド給湯器	+9.7%
ビルトインコンロ	△2.9%
ガス衣類乾燥機	+3.5%

# 日本トピック 重点商品の販売強化にむけて

## ■ 収益性向上に資する重点商品の販売拡大を継続

### ハイブリッド給湯器

ガスと電気の組み合わせで業界最高効率を実現



### エアバブル商材

微細なバブルによって、温浴・洗浄効果などを付加



### ガス衣類乾燥機

パワフルなガスの温風で短時間での乾燥を実現



## ■ 経産省による省エネ推進事業補助金が継続

2025年度

予算580億円

15万円/台

2026年度(補正予算案)

予算570億円

12万円/台

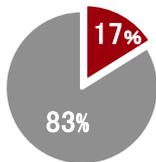
・1台あたりの補助金額は引下げも、全体の予算規模は維持され、支援台数は増加する方針に

(想定支援台数 2025年度:約45万台→2026年度:約50万台)

## ■ エアバブルの認知が広まり、さらなる拡大へ累計販売台数は17万台を突破(2025年12月時点)

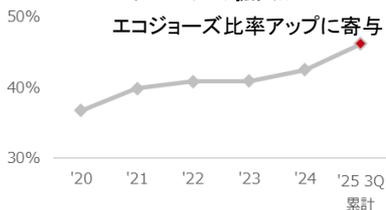
エコジョーズ販売におけるエアバブル搭載率

('25 3Q累計)



エコジョーズ販売比率の推移

エアバブルの拡大がエコジョーズ比率アップに寄与



省エネ性能と、製品競争力の強さの両立で付加価値向上に寄与

## ■ ラインアップを徐々に拡大し、消費者ニーズへの対応と施工面の課題をカバー



スタンダード  
3kg 5kg 8kg

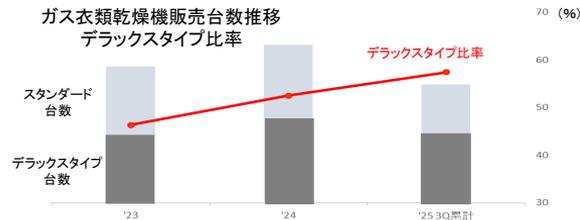


デラックス  
6kg 9kg



デラックスタイプ  
軒下設置モデル

ガス衣類乾燥機販売台数推移  
デラックスタイプ比率

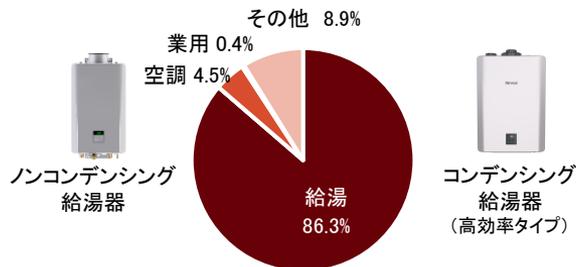


# アメリカ セグメント 2025年度 第3四半期 実績

## ■ 対象会社

リンナイアメリカ

## ■ 商品別売上構成比 (2025年度 3Q実績)



## ■ セグメント実績

(単位: 億円)	2024年度	2025年度	増減率
売上高	477.3	517.9	+8.5%
営業利益	10.4	11.6	+12.3%
営業利益率	2.2%	2.3%	+0.1pt

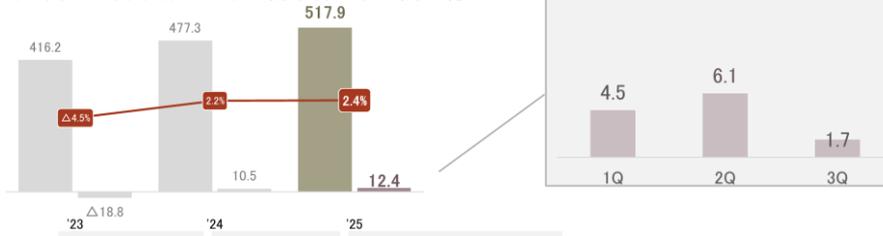
## ■ 主要会社 個別業績

### リンナイアメリカ

- 金利引下げ傾向も、新築市場では回復がみられず消費マインドは依然として低調
- 営業努力によりコンデンス給湯器の販売が堅調に推移
- 関税に伴う価格転嫁時期のずれにより、当四半期の利益は減少するも、累計では増益

### 【リンナイアメリカ 第3四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 ●: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)

	2024年度	2025年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	477.3	517.9	+8.5%	+9.8%
営業利益	10.5	12.4	+18.5%	+19.9%
営業利益率	2.2%	2.4%	+0.2pt	

(販売台数)	前期比増減率
タンクレス 給湯器	+2.5%
内)コンデンス給湯器 (高効率タイプ)	+9.6%

# アメリカ トピック 関税影響と対応状況

## ■ 関税政策の追加・変更に際して、柔軟に価格対応を行いコスト吸収

### ■ 関税影響と価格改定の実施状況

★ : 価格改定

関税 種類	1Q 1~3月	2Q 4~6月	3Q 7~9月	4Q 10~12月
鉄鋼・アルミ (KD部品 等)		25% ★	50% ★	
銅 (熱交換器 等)			50% ★	
相互関税 (完成品 等)		10% ★	15% ★	

関税影響額 (支払額)	1Q	2Q	3Q
(単位:円)	-	約2.8億	約12.0億

### ■ 給湯市場への影響

市場台数 前年比(累計)	1Q	2Q	3Q
給湯器市場	+0.3%	+0.7%	+0.2%
タンクレス市場	△0.5%	+5.3%	+1.5%

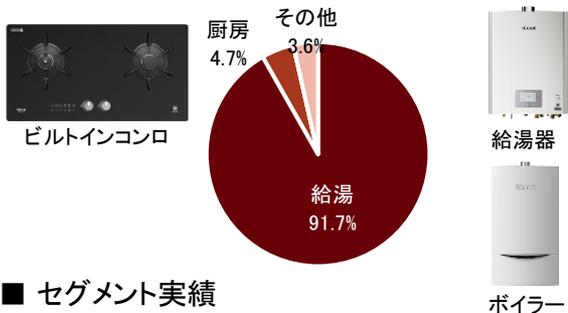
- ・足元では、関税影響による販売台数への大きな変化は見られず
- ・給湯市場全体は停滞する中、当社が注力するタンクレス市場は、伸びは鈍化しつつも成長を維持

# 中国 セグメント 2025年度 第3四半期 実績

## ■ 対象会社

上海林内、広州林内、林内香港

## ■ 商品別売上構成比（2025年度 3Q実績）



## ■ セグメント実績

(単位: 億円)	2024年度	2025年度	増減率
売上高	448.4	371.7	△17.1%
営業利益	61.5	57.3	△6.7%
営業利益率	13.7%	15.4%	+1.7pt

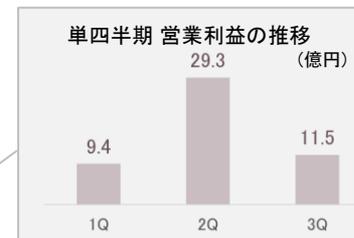
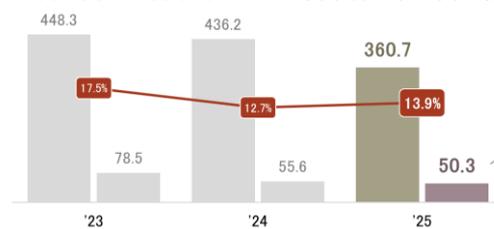
## ■ 主要会社 個別業績

### 上海林内

- 補助金の財源枯渇が顕在化、市場回復の兆しが見えず消費マインドはさらに冷え込む
- 減収着地も代理店・ECの細やかな販売施策により、市場在庫を健全化
- 販売減のなか、機動的な生産調整と経費の抑制効果により、収益性を維持

### 【上海林内 第3四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 ●: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)	2024年度	2025年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	436.2	360.7	△17.3%	△15.9%
営業利益	55.6	50.3	△9.5%	△8.0%
営業利益率	12.7%	13.9%	+1.2pt	

(販売台数)	前期比増減率
給湯器	△20.0%
ビルトインコンロ	△22.2%
レンジフード	△39.1%
ボイラー	△13.8%

# 中国トピック 厳しい経営環境下での取組

## ■ 市況低迷のなか、外部評価の高まりを背景に市場競争力を維持

### ■ 京东金榜(京東ランキング)※にてガス給湯器分野にて初の受賞

※中国大手EC「京東(JD.com)」における販売実績や評価を基にした公式ランキング  
「京東(JD.com)」はEC販売において中国内第2位のシェアをもつ巨大プラットフォーム

受賞ポイント: 売上と品質の総合評価にて決定

売上: 期間中の消費者への累計販売額

品質: 商品好評度、返品率、ロコミ、サンプリング検査など



### ■ 期待される受賞効果

京東(JD.com)内にて展示位置優遇、専門チャンネル展示などによる宣伝効果



述べ約10億人が「京東金榜」を参考にオンラインでの購入を行う



### ■ 中国における経営の方向性

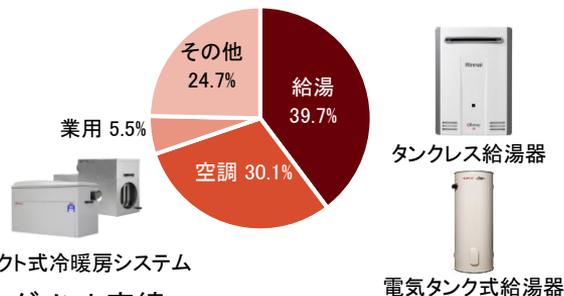
- ・日本クオリティによる高品質ブランドを維持・訴求
- ・価格規律を維持し、収益性を意識したEC販売を徹底

# オーストラリア セグメント 2025年度 第3四半期 実績

## ■ 対象会社

リンナイオーストラリア

## ■ 商品別売上構成比 (2025年度 3Q実績)



## ■ セグメント実績

(単位: 億円)	2024年度	2025年度	増減率
売上高	261.2	324.0	+24.0%
営業利益	10.3	18.4	+77.5%
営業利益率	4.0%	5.7%	+1.7pt

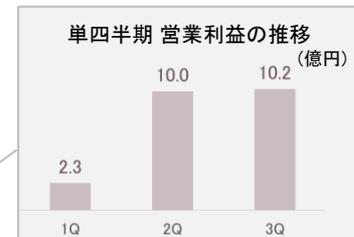
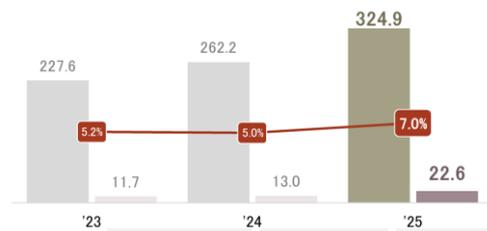
## ■ 主要会社 個別業績

リンナイオーストラリア

- 住宅需要が高止まり傾向も、電化トレンドによってガス機器市場は縮小
- ヒートポンプ式給湯器を中心に、電化関連製品の販売増が増収に寄与
- 企業買収のシナジーにより利益水準が向上し増益を継続

## 【リンナイオーストラリア 第3四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)	2024年度	2025年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	262.2	324.9	+23.9%	+30.6%
営業利益	13.0	22.6	+74.0%	+83.4%
営業利益率	5.0%	7.0%	+2.0pt	

(販売台数)	前期比増減率
タンクレス給湯器	△4.5%
電気タンク式給湯器	+1.6%
ヒートポンプ式給湯器	+146.8%

# オーストラリアトピック 住環境ソリューションとしての提供価値拡大

- スマートエナジー社の買収シナジーが顕在化しつつあり、ガス・電化両事業の基盤を強化
- 補助金等の政策動向を含む電化需要の拡大を捉えつつ、市場の構造的変化に柔軟に対応可能な基盤を整備

## ■ リンナイオーストラリアの主な販売製品

	ガス	電気	その他 電気
給湯	 <p>ガス瞬間式給湯器</p>	 <p>電気貯湯式    ソーラー式給湯    ヒートポンプ式給湯    電気瞬間式</p>	 <p>エネルギーマネジメントシステム</p>
空調	 <p>ガス暖房機</p>	 <p>ルームエアコン    ポータブル式エアコン    ダクト式エアコン</p>	<p>スマートエナジー社 買収後</p>  <p>太陽光発電システム    蓄電池</p>

スマートエナジー社の優位性

家庭用蓄電池設置数 業界1位



リサーチ会社による表彰

## ■ オーストラリア市場における再エネ事業の成長

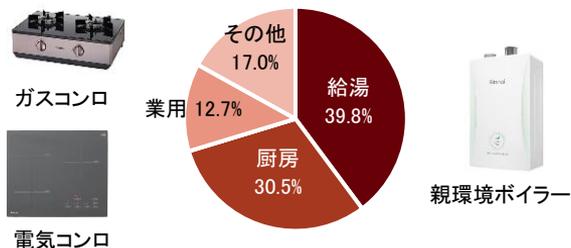
2025年7月より、蓄電池の政府補助金制度が開始 導入時の費用軽減により普及加速  
電気料金も年々上昇、蓄電池による自家発電と自家消費することで消費者は電気料金低減のメリットあり

# 韓国 セグメント 2025年度 第3四半期 実績

## ■ 対象会社

リンナイ코리아、アール・ビー・코리아

## ■ 商品別売上構成比（2025年度 3Q実績）



## ■ セグメント実績

(単位: 億円)	2024年度	2025年度	増減率
売上高	247.4	245.0	△1.0%
営業利益	6.1	9.1	+50.0%
営業利益率	2.5%	3.8%	+1.3pt

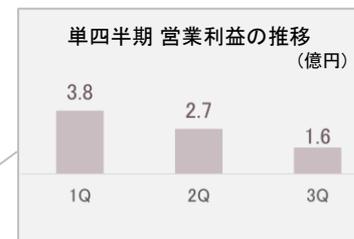
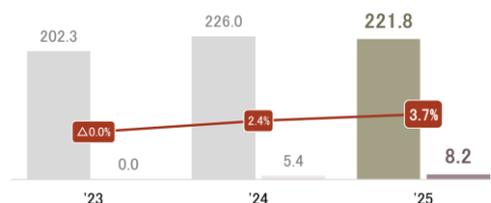
## ■ 主要会社 個別業績

### リンナイ코리아

- 経済の停滞によって、新築住宅市場では依然として低調な状況が続く
- 力強さに欠ける市場環境のなか、現地通貨では増収を継続
- 高付加価値製品の販売伸長により増益を達成

### 【リンナイ코리아 第3四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



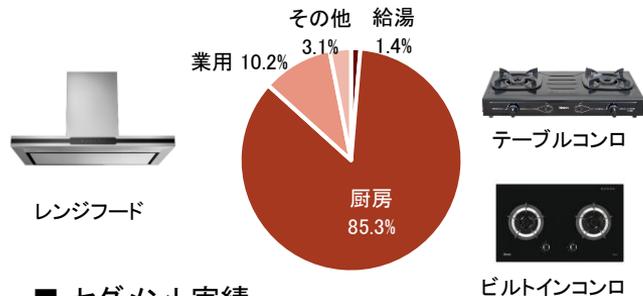
(単位: 億円)	2024年度	2025年度	前期比増減率		(販売台数)	前期比増減率
			円貨	現地通貨		
売上高	226.0	221.8	△1.9%	+4.6%	ボイラー	+18.1%
営業利益	5.4	8.2	+52.9%	+62.9%	ガスコンロ	△8.3%
営業利益率	2.4%	3.7%	+1.3pt		電気コンロ	△5.4%

# インドネシア セグメント 2025年度 第3四半期 実績

## ■ 対象会社

リンナイインドネシア

## ■ 商品別売上構成比 (2025年度 3Q実績)



## ■ セグメント実績

(単位: 億円)	2024年度	2025年度	増減率
売上高	130.4	135.5	+4.0%
営業利益	29.7	29.3	△1.2%
営業利益率	22.8%	21.7%	△1.1pt

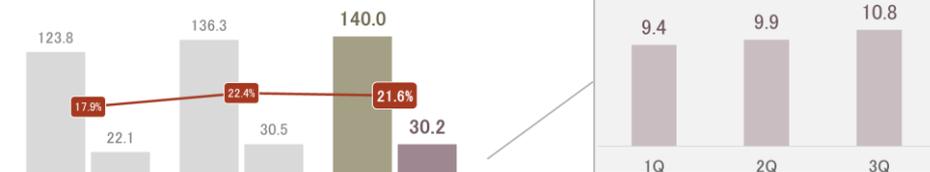
## ■ 主要会社 個別業績

リンナイインドネシア

- 金利低下傾向も、公共事業投資の伸び悩みにより、住宅市場の成長が鈍化
- 需要が堅調なテーブルコンロが販売を牽引し、増収
- 現地通貨では増収増益を継続するも、為替換算影響で微減益

## 【リンナイインドネシア 第3四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 ●: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)	2024年度	2025年度	前期比増減率		(販売台数)	前期比増減率
			円貨	現地通貨		
売上高	136.3	140.0	+2.7%	+7.6%	テーブルコンロ	+5.1%
営業利益	30.5	30.2	△1.1%	+3.6%	ビルトインコンロ	+1.2%
営業利益率	22.4%	21.6%	△0.8pt		レンジフード	△15.4%

# その他地域ピックアップ MTインダストリアル(MTI) 新規連結子会社化

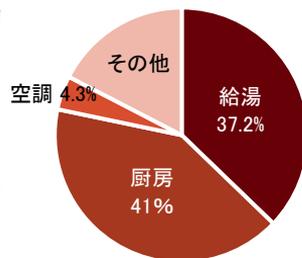
## ■ MT Industrial社の子会社化によりペルー国内および周辺国における販売網強化と成長機会の拡大を図る

### ■ MT Industrial社買収のねらい

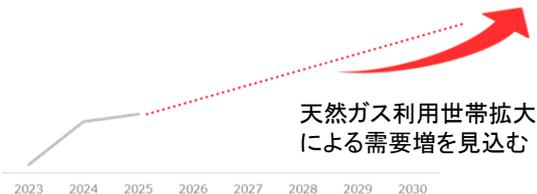
人口動態や政策動向を背景とした天然ガス需要の成長が見込めるペルー国は中南米重要エリアの1つ。現地の有力な販売会社(MTI社)の買収により、中南米のカバーエリア拡大を図る。



MTI社 商品別売上構成比 (2024年度 実績)



MTI社 売上予想



### ■ 期待するシナジー効果



MTI社の強固な販路を活用した、両社ブランドの相互活用



リンナイが商材を持つ製品の販売による、事業拡大(業務用、ドライヤー等)



南米西側の地域拠点として、周辺国への販売強化

### ■ 計7製品で販売台数シェアNO.1

当社事業との親和性が高い、重要な事業基盤を有す



# 連結業績予想の進捗

- 銅価格上昇も残る第4四半期で上昇分を吸収しつつ、計画達成の見込み
- 連結業績は計画に沿って進捗、通期業績予想を維持

[単位:百万円]

		売上高	営業利益	売上比	経常利益	売上比	親会社株主帰属 当期純利益	売上比
連結損益 【予想】	通期	470,000	50,000	10.6%	53,500	11.4%	33,000	7.0%
	前期比増減率	+2.1%	+8.7%		+6.3%		+11.1%	

連結業績 【実績】	第3四半期	339,391	37,132	10.9%	41,817	12.3%	27,538	8.1%
	前期比増減率	+2.1%	+5.9%		+7.6%		+20.4%	
	対通期進捗	72.2%	74.3%		78.2%		83.4%	

- 特に銅価格の動向や、為替変動が今後の計画達成に向けた不確定要因となる

<参考:為替レート>

	25年度3Q 適用レート	25年度年初 想定レート
米ドル	148.824	145.000
豪ドル	94.970	95.658
人民元	20.597	20.135
ウォン	0.1051	0.1066
ルピア	0.00911	0.00917

<参考:電気銅価格の推移>

